

地域に内在し世界を構想する JCAS Review

地域研究 Vol. 16 No. 2

総特集

中口の台頭と 欧米覇権の将来

塩谷昌史／大坪祐介／加々美光行／林幸秀／細谷雄一／西川輝／露口洋介
安木新一郎／岡野英之／岩田英子／岡田美保／尹曼琳／周少丹／津田憂子／小林正明

論文

地域情報学の読み解き 発見のツールとしての時空間表示とテキスト分析

柳澤雅之／高田百合奈／山田太造

第五回地域研究コンソーシアム賞 受賞者発表

●地域研究コンソーシアム／JAPAN CONSORTIUM FOR AREA STUDIES

〔巻頭言〕パリ同時多発テロ事件と地域研究者

白杵 陽

004

〔総特集〕中口の台頭と欧米覇権の将来

〔総特集にあたって〕戦後の国際秩序の転換——先進諸国から新興経済圏へ

塩谷昌史

008

〔座談会〕国際秩序を変えようとする中国とロシア

大坪祐介・加々美光行・林幸秀・細谷雄一

028

塩谷昌史（司会）

〔第一部〕マネー——ドル基軸通貨体制の黄昏

ブレトンウッズ体制とIMFの変容——史的展開と現局面

西川 輝

060

中国の金融改革と対外通貨戦略

露口洋介

077

国際原油価格とロシア経済の関係について

安木新一郎

100

ブレトンウッズ体制と「知識」

——シエラレオネ内戦の研究を事例として

岡野英之

120

【第Ⅱ部】安全保障と資源の確保——米国の後退と中口の台頭

安全保障政策の転換——世界各国の動向……………岩田英子 148

核兵器の再登場——ロシアの核政策と変化する欧州安全保障……………岡田美保 166

中国とアフリカ——中国の対アフリカ政策と経済進出……………尹曼琳 187

【第Ⅲ部】国力としての科学技術——ノーベル賞を視野に入れる中国

中国の科学技術の歴史と現状……………周少丹 210

ロシアの科学技術情勢——資源大国からの脱皮を模索して……………津田憂子 227

電子戦について——防衛科学技術としてみた電子戦技術とその研究開発動向に関する一考察……………小林正明 252

【論文】

地域情報学の読み解き——発見のツールとしての時空間表示とテキスト分析

柳澤雅之・高田百合奈・山田太造

267

第五回地域研究コンソーシアム賞 受賞者発表……………

293

中口の台頭と 欧米覇権の将来

二〇〇〇年代初頭以降、新興経済諸国の経済成長は欧米先進諸国を上回り、今では経済的に無視できない存在となった。とりわけ、経済成長目覚ましいブリックス（BRICS）諸国は、グループの結束力を高め、従来の国際秩序を自らの利益に合わせる形に転換しようとしている。その変化の中心は中国とロシアである。本特集では金融、安全保障、科学技術の観点から、中口の動向とその国際秩序への挑戦を読み解く。

第一部

マネー——ドル基軸通貨体制の黄昏

国際的な金融制度は、国際秩序の重要な構成要素である。長らくそれは、米ドル基軸通貨体制が担ってきた。しかし今、中国とロシアはこの米ドル依存から離れようとしている。第一部では基軸通貨体制の変遷を振り返りながら中口の金融制度改革に迫る。

第II部

安全保障と資源の確保

—— 米国の後退と中ロの台頭

国際秩序の構成要素には、さらに安全保障体制がある。国際平和を維持するための安全保障の枠組みは、同時に戦略物資（資源）を安全に資源国から消費国に運ぶためにも機能する。第II部では、世界的な安全保障政策の転換を俯瞰し、そのなかでの中国の資源確保の動向に着目する。

第Ⅲ部

国力としての科学技術

——ノーベル賞を視野に入れる中国

二〇一五年中国はノーベル医学生理学賞受賞に歓喜した。中国本土育ちの研究者から初の自然科学分野の受賞者が出たからだ。欧米覇権を盤石にしてきたのは、科学技術である。中ロが欧米の覇権に挑もうとするなら、科学技術の向上は必須である。第Ⅲ部では、中ロ両国の国をあげての科学技術への取り組みに焦点を当てる。

『地域研究』刊行にあたって

グローバル化の進む今日、世界の各地は緊密に連関し、また共通の課題に直面しています。その変化や課題が展開されているのは、人々の生きる現場である「地域」です。『地域研究』は、地域の総体的理解を目指す地域研究のフォーラム誌として、世界各地を対象とする多様な研究を結び、地域の視点から問題を提起し、「地域から世界を考える」ことを目標に刊行されます。

『地域研究』は、地域研究にかかわる全国の研究教育機関、研究プロジェクト、学会、市民組織や国際機関などが参加する地域研究コンソーシアム（JCAS）に編集委員会をおき、多様な研究対象地域やアプローチをもつ研究者が協力して編集しています。年2回の刊行はJCAS事務局を担当する京都大学地域研究統合情報センターが行っています。

投稿のご案内

『地域研究』では、特集企画案および個別論文を公募しています。特集企画案は編集委員会で検討し採否を決定します。個別論文は、査読を経たのち、編集委員会で採否を決定します。公募要領および執筆要項などの詳細は、地域研究コンソーシアムのホームページ（<http://www.jcas.jp>）に掲載しています。また刊行担当（journal@cias.kyoto-u.ac.jp）にメールにてご相談いただくこともできます。

地域に立脚した視点から広く「世界」を考える企画・論考を歓迎します。ふるってご応募ください。

『地域研究』編集委員会（2016年3月現在）

白 杵 陽	日本女子大学文学部（委員長）
猪 口 孝	新潟県立大学
帯 谷 知 可	京都大学地域研究統合情報センター（刊行担当）
塩 谷 昌 史	東北大学東北アジア研究センター
竹 中 千 春	立教大学法学部
中山 大 将	京都大学地域研究統合情報センター
西 芳 実	京都大学地域研究統合情報センター
福 田 宏	愛知教育大学地域社会システム講座
柳 澤 雅 之	京都大学地域研究統合情報センター
山 本 博 之	京都大学地域研究統合情報センター

編集後記

今号では大国としての存在感を増す中国とロシアに焦点を当てることとなり、2015年度は、前号のウクライナ特集と合わせて、ポスト・グローバル化時代の国際秩序の転換とその変容の方向性にかかわるような総特集をお届けすることができました。地域研究分野の研究者だけでなく、いっそう幅広い読者に関心をもっていただけることを期待しています。

来年度、雑誌『地域研究』は大きな変革の年を迎えることになりそうです。引き続き読者の皆様からのご支援をいただけましたら幸いです。

(刊行担当 帯谷知可)

地域研究 Vol.16 No.2

初版発行	2016年3月31日
編集	地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会
発行	京都大学地域研究統合情報センター 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 journal@cias.kyoto-u.ac.jp http://www.cias.kyoto-u.ac.jp
制作・発売	株式会社 昭和堂 〒606-8224 京都市左京区北白川京大農学部前 電話075-706-8818 / FAX 075-706-8878 振替01060-5-9347 http://www.showado-kyoto.jp/

印刷 亜細亜印刷

©地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会 2016

Printed in Japan

ISSN 1349-5038

ISBN978-4-8122-1549-4